

6

秘密標記(赤色)

54

非( )

( ) 政第 6088 号  
昭和 昭和 48 年 12 月 17 日

# 外務大臣 殿

## 在 大 韓 民 國 後 宮 大 使

(件名)  
韓国原爆被害者医療セウ一の病院

引用公・電信  
日付・番号

12月15日付各紙以、韓国原爆被害者医療  
セウ一の病院に付、大韓民國に  
「セウ一」の記事切取及土副塔、御報告  
申しあげます。

付属添付  付属空便(行)  付属空便(DP)  付属船便(貨)  付属船便(郵)

本信送付先:

2415

本信写送付先:

省内写配布希望先:



12月15日付 朝鮮日報

「悲願28年、… 陝川医療院が今日開院

韓国原爆被害者医療院が今日門を

開ける。15日午後1時、陝川郡 陝川面 狹

川洞にて ~~行われ~~ 予定の ~~開院式~~

~~開院式~~には、原爆被害者 2千余名

と日本核兵器禁止平和建設委員会委員

一行30余名が出席する予定である。この

センターは日本の民間団体である核禁平和

建設委員会の 誠金 9百60萬円を

70 3百坪の敷地に 建坪 80坪規模

て、去る10月13日に着工、2ヵ月日に竣工し

たが、被爆後28年目に韓国で始めて建て

られた医療センターには入院室6ヵ、治療室

6ヵ、試験室6ヵが~~備~~<sup>備</sup>わっている。

現在、韓国では2萬1千余名の被爆患者

が散在しているが、狭川郡内には約

7百90~~名~~<sup>戸</sup>4千3百余名があり、狭川郡出

身被爆者が80%に達するので医療セン

ターをここに建立した。

狭川の土地に全被爆者の3割がす

んでおり、又狭川郡民18萬名の中、1.2%が

被爆者である。

広島被爆当時 6万余名の韓国人が

おり、その中 3萬5千余名が火葬死し、

2萬名が帰国したものと知られている。その

わけ広島に多く住んでいた。狭川人の数は

1萬9千名、その中 6千名が帰郷したので

あった。栗谷面に住む被爆者 1,174名

(55) 2人は今でも蒸った日は全身が火

のく 泣かいたいと語り、狭川邑内での

酒屋を経営している 被爆者 新白中 (38)

は今も被爆によって、火傷<sup>ヤけど</sup>を受けた。~~全身~~

部分が痛んでくることである。

鄭学龍氏は、馬車に妻を運搬して

ときに村爆されたが、馬は子に馬のあかじ  
で顔と首にやけどして帰国した。

ところが彼には4才に成る双子がいるが

その中の一人が両眼が白く失明してくるそ

うである。この失明する息子を前にして

もたえる父母達は彼等に己の罪がある

って子供達までがこの原爆のつみを

負わねばならぬかと考えた。

広島に狭川の人が多く住んだ理由は

しては、~~被疑者~~ 被疑者である ベリ・クアン・フン  
 の言葉によれば、1910年頃 狭川人として 姜と  
 いう大が 大島に渡り 土木請負業を始め、  
 大成するに依り 彼の 親戚、親類  
 を大差っれて行き、 ベリ・クアン・フンの 父親も  
 大がが 因で <sup>大</sup>島に行き 菜屋を 経営、大  
 成して 故郷の 人をも たしめんつれていったと  
 いう。

6才の少女の時に 被疑者 ~~と~~ <sup>し</sup> いたイ・ハル。

4エニ 4ヤ (34) は、知能に 支障を うけ、30余

年を 坐つて 精神が 弱つて、 生き、 量つた

日付 頭痛と大傷のいたさ ~~を~~ <sup>に苦いゆせいの</sup>

語り、汗が始めたらとまるたのか

共通の症状であるといった。そして彼

等の ~~記録~~ <sup>子孫</sup> の中には ~~いん~~ <sup>いん</sup> を後遺症 ~~を~~

あらわゆるのか、 <sup>か</sup> もつとも ~~を~~

不安であるを認めて、子供を生まのか

おそろしいといった。